

「活動報告（平成九年）」

一、研究会等

◇ 戰史研究発表会 ◇

平成九年七月三日

防衛研究所大講堂

研究発表

「第一次世界大戦における歐州戦線派兵要請と日本の対応」

戦史部主任研究官 永井煥生

「第一次山東出兵における政策決定過程の諸問題」

戦史部主任研究官 溝部竜

「日中戦争の全面化と米内光政の中国認識」

戦史部主任研究官 相澤淳

「市ヶ谷台史料の修復について」

東京修復保存センター代表 坂本勇

「大東亜戦争の世界史的意義—京都学派をめぐって—」

学習院大学教授 坂本多加雄

◇ 各種研究会 ◇

平成九年一月十四日他

「海軍軍戦備」

元海軍省人事局課員・海軍大佐 末国正雄

平成九年一月四日他

「西欧と日本の軍事思想」

元戦史部所員 前原透

平成九年五月十六日

「一九三〇年代の日本海軍」

元軍令部部員・海軍大佐 扇一登

平成九年五月二十日他

「太平洋における海軍の戦略発想」

元連合艦隊参謀・海軍中佐 千早正隆

平成九年七月十七日

「二十世紀東アジアの日米中関係—日中戦争六〇年に際して—」

ハーヴィード大学教授 入江昭

平成九年十月二十一日
「大本營の移転」

平成九年十一月十三日
「中国占領地の経済政策」

郷土史研究家 梶 賀 圭 作

平成九年十一月四日 「日本とドイツ一九三三～一九四五年」
十一月六日 「太平洋の戦いとヨーロッパの戦い」
十一月七日 「第二次世界大戦における日本の役割」

元企画院調査官 岩 武 照 彦

エドワード・マロルダ(Edward Marolda)米海軍歴史センター所長専任顧問
平成九年十一月一日 「ベトナム戦争と統合作戦」
十一月三日 「多国籍の艦隊—湾岸戦争における

「戦間期の日本陸軍—ワシントン体制下の軍事と外交—」

東京女子大学助教授 黒 沢 文 貴

十一月四日 「浮かぶ鋼鉄の壁—アジアにおける

海軍力と冷戦」

平成九年十一月二十一日

「一九三〇年代の日英関係—対立への道—」

ロンドン大学講師 アントニー・ベスト(Antony Best)

◇ 戰史現地研究 ◇

戦史部・軍事史学会合同硫黄島研修

平成九年六月七日～八日 戰史部長以下二十五名参加

松代大本營跡（長野県）

ロジャー・ディングマン(Roger Dingman)南カリフオルニア大学教授

平成九年三月十一日 「米比戦争—変革の培養」

三月十一日 「太平洋上の潜水艦戦 一九四一～四五

◇ 海外出張 ◇

平成九年十月二十一日～二十四日 戰史部長以下十二名参加

三月十二日 「朝鮮戦争—過去の重みと変革の障害—」

三月十二日 「革新性と不法性—」

ゲルハルト・ワインバーグ(Gerhard Weinberg)ノースカロライナ大学教授

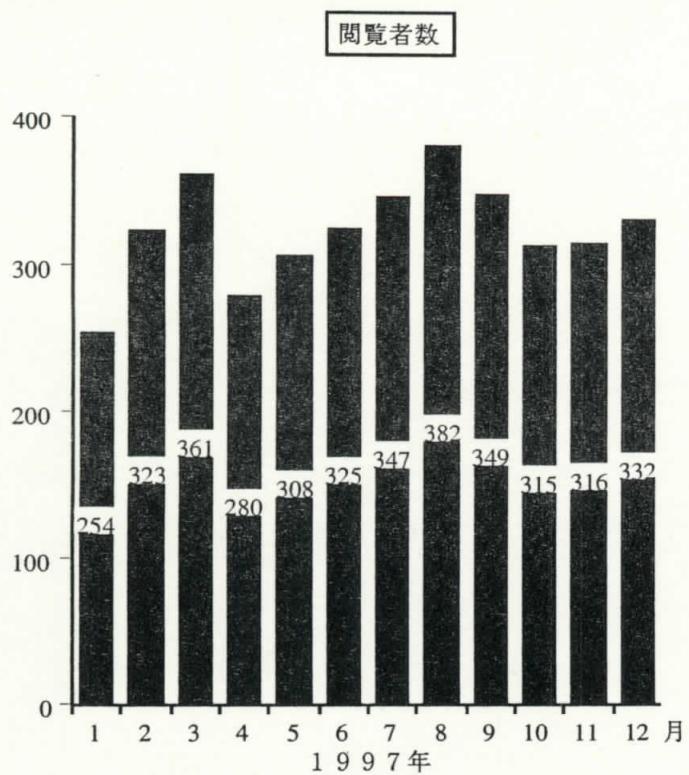
庄司潤一郎主任研究官は、平成九年八月二十四日から九月六日まで、
チエコ共和国、ポーランド共和国及びドイツ連邦共和国に出張、第二十
三回国際軍事史学会プラハ大会に出席し、各国の研究者と意見交換を実
施するとともに、史資料の収集を行った。

二、戦史史資料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書非公文書及びその他戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下「史資料」という）を、平日九時から十六時三〇分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。調査研究のため閲覧を希望する者は、所定の手続きをとつて誰でも閲覧することができる。

本年（平成九年）の閲覧者総数は、三、八九二名であった。月別閲覧

者数は左表のとおりである。



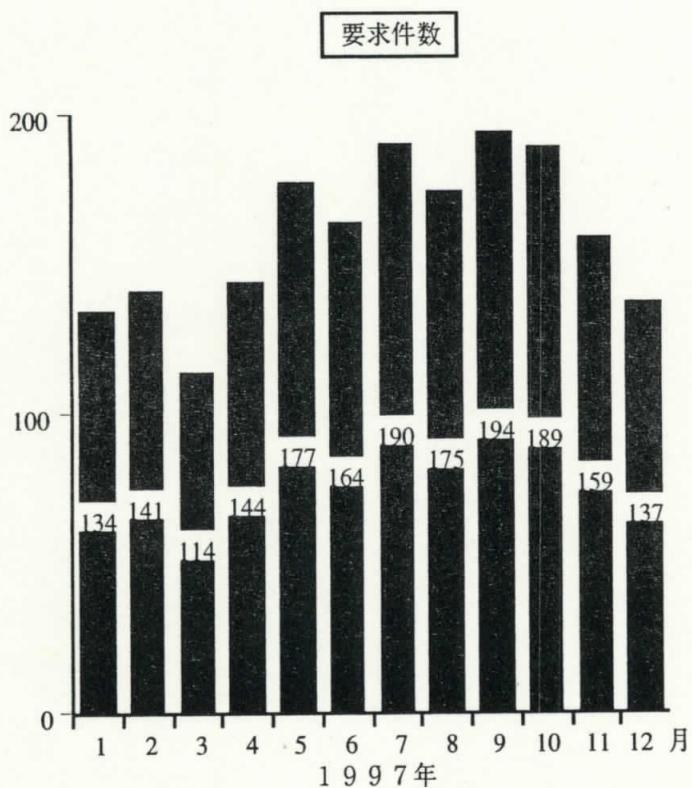
三、参考調査（レファレンス）

防衛研究所は、図書館史料閲覧室史料専門官、戦史部参考調査担当官を窓口として、史資料の検索、特定史資料の内容に関する情報提供、史資料に関する参考文献及び専門的調査機関等に関する情報提供を行つている。

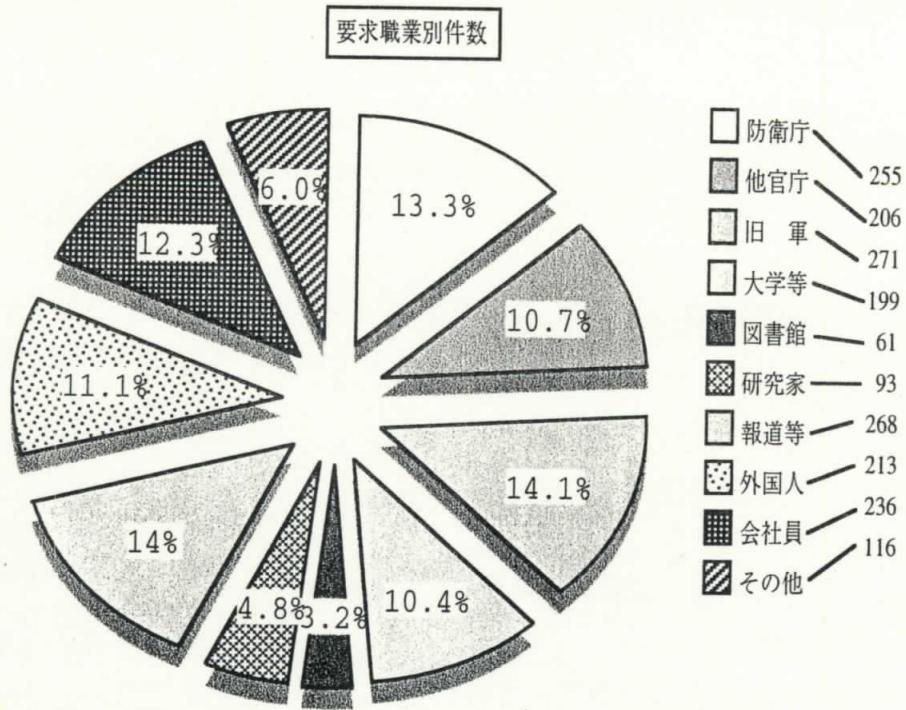
本年（平成九年）の参考調査統計は、以下のとおりである。

（二）要求件数

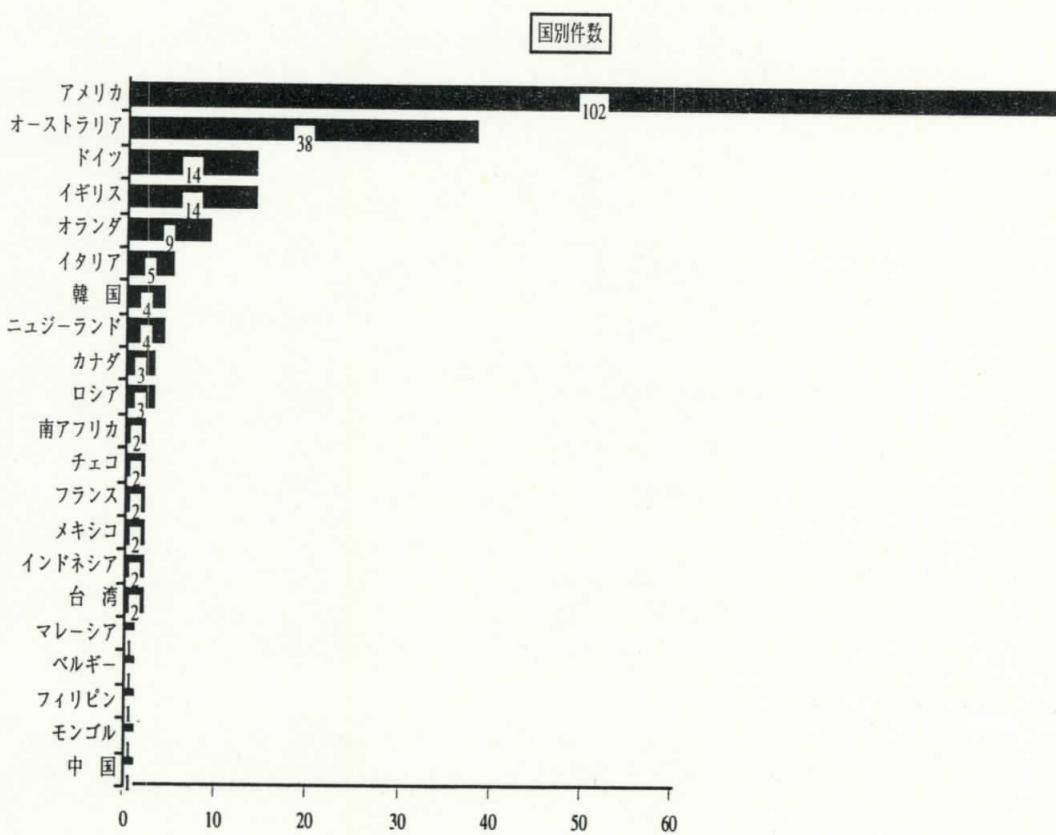
総件数は、一、九一八件であった。月別件数は左表のとおりである。



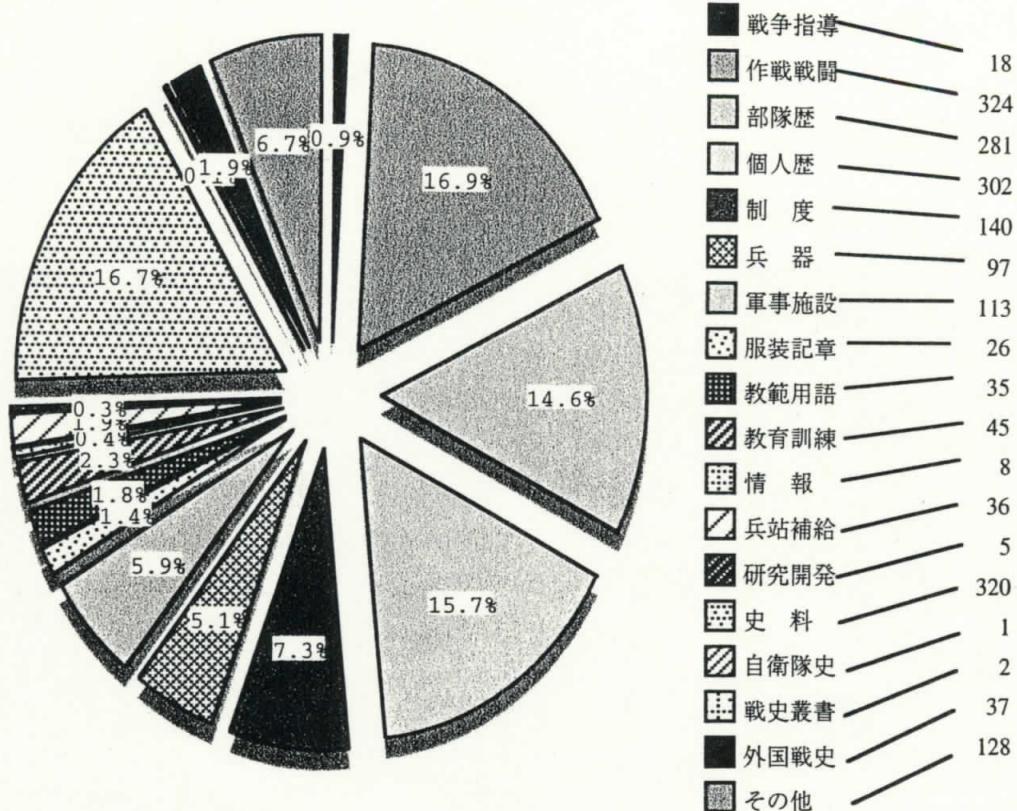
(二) 要求者の職業



(三) 外国人
要求総件数は、二二三件であった。

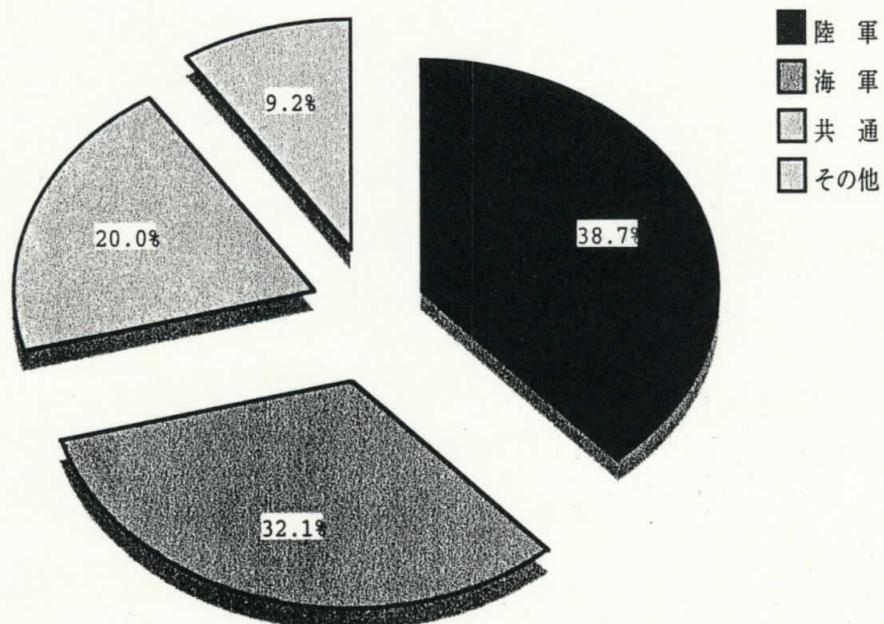


内容別件数



陸軍	海軍	共通	その他
743	615	384	176

陸海軍別



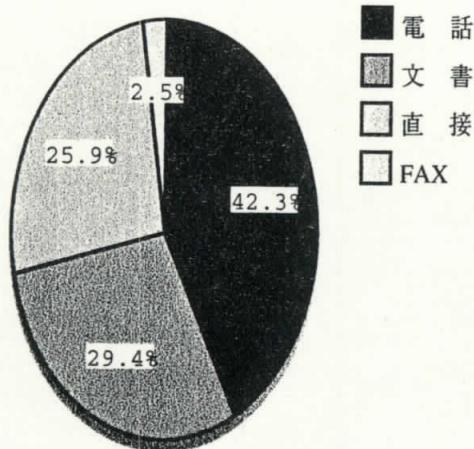
(六)

要求回答手段

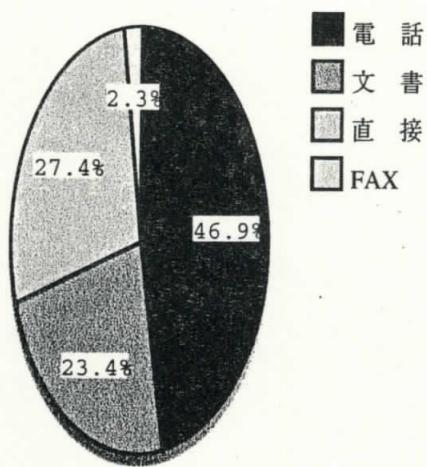
電話	文書	直接	FAX
812	563	496	47

電話	文書	直接	FAX
900	448	526	44

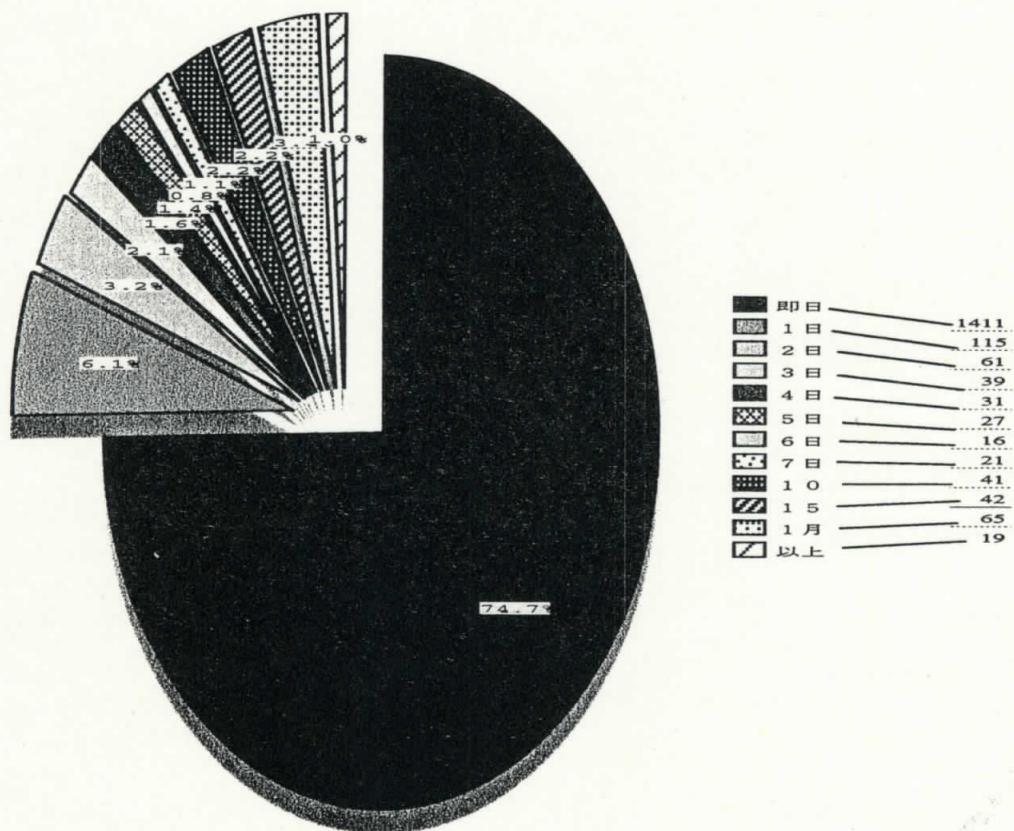
回答手段



要求手段



回答日数別件数



(七) 回答日数

四、見学者

平成九年の当図書館史料庫を見学した主な見学者は、左記のとおりである。

- 一月十日 モンゴル科学アカデミー東洋学・国際関係所長
三月十二日 ベトナム国防次官一行三名
三月三十一日 マレーシア文部省一行六名
四月一日 三輪公忠上智大学教授
四月二十八日 米国統合参謀本部戦史室長一行五名
六月十七日 上智大学大学院生一行十三名
九月十一日 インドネシア退役中将
十月十六日 東京女子大学学部生一行十六名
十二月八日 「戦前期中国調査資料研究会」一行

(菊田慎典、宮脇賢)